土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　砂防指定地内河川 松谷川 既設堰堤改築に伴う測量調査設計業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	BorNo.1	**調査位置**	広島県三次市青河町			**北緯**	34° 44′ 50.397″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2023年 1月 11日 ～ 2023年 1月 16日	**東経**	132° 50′ 31.057″
調査業者名		**管理技術者**		**担当者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +223.69m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 90°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	15.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦製 D0-DL-S0型
							エンジン ヤンマー製 TF90M-E型
							ポンプ 東邦製 BG-3CL型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	223.69	1.00		増打コンクリート		暗灰	rd5	-		長柱状コアで採取。 上流側の増し打ち部。	
1～11	223.69	11.60		コンクリート		灰～青灰	rd5	-		玉石混り礫混りコンクリート 岩片～短柱状コア主体で採取。 玉石とコンクリートの境界やコンクリート内に空隙が多数認められる。 深度9.9m～10.9m：亀裂多くコア流出	
12～15	223.69	15.00		流紋岩		青灰	rd5	-		高角度の割れ目が発達。 ハンマー軽打で金属音発する。 潜在亀裂多く、割れやすいが岩片は非常に堅固である。	

標準貫入試験

深度 (m)	深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
2.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
3.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
4.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
5.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
6.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
7.00	(50/50)	300	50/50			50/50	50	
8.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
9.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
10.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
11.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
12.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
13.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
14.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
15.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				1/11
				1/12
				1/13
				1/14